
令和8年度の取り組みについて

令和8年4月14日

グリーンIoTラボ・桑名



GX推進、ゼロカーボンの取り組み一覧

2050年の脱炭素化の実現に向けて、2013年の二酸化炭素排出量に対し、2030年に47%削減を目標としている。

アクションプラン具体的施策	事業名	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年		2050年		
地球をまもる 脱炭素の社会 づくり	創エネ・ 省エネの 促進	市役所本庁舎への再生可能エネルギー電気導入	■								
		カーボンニュートラルな都市ガスの導入	■								
		公共施設への再生可能エネルギー導入事業（PPA事業）	■								
		電力調達	■								
		共同購入事業（家庭向け）	■		■	■	■	■	■		
		共同購入事業（事業者向け）	■		■	■	■	■	■		
		公共施設等のLED化	■	■	■	■	■	■	■		
		ごみ発電による電力地産地消	■	■	■	■	■	■	■		
		Jクレジット（コンクリート）	■								
		環境に配慮した行動への転換促進	EV充電器の設置	■							■
宅配再配達防止啓発事業	■		■	■	■	■	■				
みんなでももる パートナーシップ の仕組みづくり	環境学習の充実	環境学習モデル事業	■		■	■	■	■			
		環境学習	■								
	環境保全活動に参加しやすい環境づくり	チラシ・リーフレット作成	必要に応じて更新	■							
		IoTラボ	■								
		GXセミナー	必要に応じて開催	■							

公共施設等のLED化

公共施設及び街路灯等について一括でLED化することにより、環境負担の軽減、維持管理経費の削減及び電気料金の削減を目指します。

○LED化予定施設等数

施設等	LED化予定数
公共施設（上下水道施設含む）	163施設
街路灯・道路灯等	3555本

- 工事期間** 令和8年度～令和10年度（3か年）
- 契約** 10年間の保守管理を含んだ賃貸借契約
- 予算額** 2,183,494,013円（上下水道施設を含む）



- 今後の予定**
令和8年度 プロポーザル方式にて事業者を決定
事業者決定後、順次施設の調査及び工事



ごみ発電による電力地産地消

桑名広域清掃事業組合で発電されているごみ発電の再生可能エネルギー電気を市内公共施設で使用することで、電力の地産地消を行い、脱炭素の推進をしています。

○対象施設

まちづくり拠点施設10施設

○開始時期

令和7年4月

※東員町、木曾岬町も4月に地産地消を開始

出典：広報くわな5月1日号
(Vol.245)

桑名の未来をもっと明るく!

ゼロカーボンシティ 取りくみレポート

電気の地産地消を開始しました!

皆さんは、桑名広域清掃事業組合で「ごみ発電」を行っているをご存じですか。

「ごみ発電」は、ごみを燃やす時に発生する廃熱(*)を利用して発電するため、二酸化炭素を余分に増やすことなく発電できる環境にやさしい発電方法です。

今年度から一部の公共施設の電気を、この「ごみ発電」電気に切り替えました。桑名市や近隣市町で出されるごみを燃やして発電した電気を、この地域の公共施設において使用することで、「電気の地産地消」を推進し、ゼロカーボンシティの実現に向けた、持続可能なエネルギー利用をめざします。

※通常であれば使用する目的がなく棄てられてしまう熱

電気の地産地消の仕組み

家庭などで出たごみを収集・運搬

廃熱を利用した発電により化石燃料の使用を削減!

公共施設へ電力の供給

ごみを燃やすときに発生する廃熱を利用して発電

立教まちづくり拠点施設 外9拠点施設

桑名広域清掃事業組合

☎ グリーン資産創造課 ☎ 24-1229 ☎ 24-6312

現在、電力の地産地消を行うことのできる施設の追加を検討しています!

○目的

令和7年度に実施した津田学園での環境学習プログラムを踏まえ、体系的な教育や知識、体験の機会を提供し、桑名市の未来を担う子どもたちに、地球温暖化及びゼロカーボンについての理解を深め、ゼロカーボンについて考えてもらう。

○学習の方向性

ゼロカーボンについてのより具体的なイメージを持てるよう、児童のみなさんに楽しんでもらいながら地球温暖化やゼロカーボンの基礎的な知識と合わせて、桑名市にあるゼロカーボンの技術に触れてもらい、ワークショップを通じて、これまでの学習内容の振り返り及びアウトプットを行う。

○対象

深谷小学校4年生

○期間

令和8年秋頃実施（予定）

⇒全3回の授業（フィールドワーク含む）を実施予定



○今後の展開について

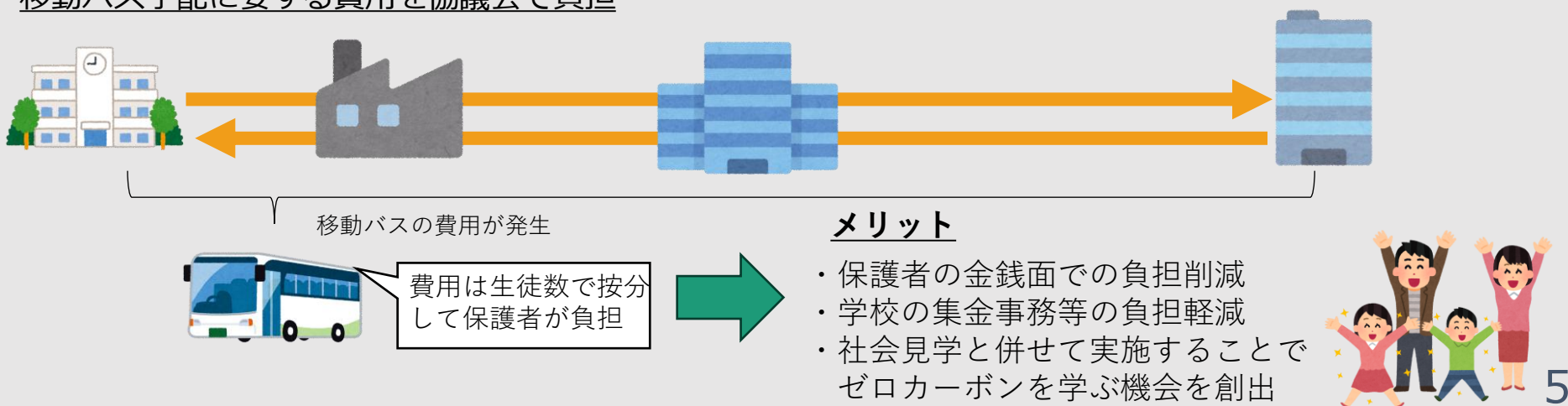
令和8年度は公立学校のモデル校として深谷小学校で実施し、実施結果を踏まえて令和9年度以降は実施校を増やせるよう、さらなる制度設計を行う。

○プログラム概要

	第1回	第2回	第3回
形式	座学	課外学習	ワークショップ
場所	教室	①グリーンパワーパーク ②リサイクルの森	教室
所要時間	1コマ（45分）	半日相当	1コマ（45分）
学習内容	地球温暖化の基礎及び家や学校で簡単にできるゼロカーボンの取組紹介。	課外学習を通じて、ゼロカーボンに寄与する技術を実際に見て、体験する。（学校で実施している社会見学と併せて実施。）	生徒の視点から桑名市での「日々の暮らし」や「学校生活」でできる取組を児童たちに考えてもらい、発表。

○課外学習における移動バスに要する費用の負担

移動バス手配に要する費用を協議会で負担



GX推進、ゼロカーボンのその他取り組み予定

①太陽光発電設備等の普及に関する取り組み

- ・太陽光発電設備等共同購入事業（家庭向け・事業者向け）
- ・太陽光発電設備等補助事業（家庭向け）の実施

②ESP方式による電力調達

- ・各施設の特性に合った料金プランの契約
- ・再生可能エネルギー電力（再エネ30%以上）の導入

③環境学習の実施

- ・市内小中学生を対象とした地球温暖化対策等の環境学習を民間事業者を講師に招き、実施

今年度協力事業者（予定）

株式会社エスプール

東邦ガス株式会社

ソフトバンク株式会社

荏原環境プラント

レクサス桑名

